



平成5年度指定 高指第73号

鳥田 稔弘

【雅号】宗吾 そうご

生年／昭和15年 指定技術名／銅器・彫金



いろえぞうがんかき「りゅうどう」

色絵象嵌花器「流動」

色彩豊かな表現を施すため、金、銀、銅の湯床吹きによる合金づくりから手がけ、下絵に合わせて切り抜き、巧みに嵌め込んでいく色金重ね高肉象嵌の第一人者である。意匠制作から手がけるこの作品は、象嵌の上にさらに象嵌を施す高度な重ね象嵌技術によるもので、躍動感のある細魚の群れがいきいきと表現されている。素材の性質を知り尽くした見事な感覚により、絵画のように豊かな色彩を生み出す渾身の一作である。

※湯床吹きとは、お湯の中に溶かした金属を流し入れて合金をつくる技法のこと。

平成14年作

素材・技法／青銅・焼型鑄造、金、銀、赤銅、黒四分一、白四分一、四分一等の鍍象嵌
寸法／高さ30cm×幅43cm×奥行11cm

【表彰・受賞歴】

平成14年 高岡市市民功労者表彰
全国伝統的工芸品公募展内閣総理大臣賞
平成15年 富山県功労表彰
平成19年 卓越した技能者（現代の名工）表彰
平成20年 富山新聞社文化賞
平成21年 黄綬褒章

【経歴】

昭和31年 父精二に師事し彫金技術全般を習得
昭和39年 第7回新日展に於いて外務省買上
父精二の死去により独立自営、現在に至る
昭和56年 伝統工芸士に認定
昭和58年 高岡地域地場産業センター内産業資料館御
車山金具製作代表責任者
昭和61年 高岡市伝統工芸産業技術者養成スクール講師
平成6年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
平成7年 高岡市美術館に飾皿「海老」色金象嵌買上
平成17年 国立大学法人富山大学芸術文化学部講師
平成18年 全国山・鉾・屋台保存連合会技術者会会員
高岡市伝統的工芸品技術・技法の継承者育成
事業講師
平成19年 高岡巧美会会長
平成20年 日本伝統工芸士会副会長